えないっぱい給食

地元食材を知り、食べよう！

みんなは「えないっぱい給食」って、知ってる？　えないっぱい給食は、年に3回実施される、市内産の食材をたっぷり使った特別な学校給食のこと。「恵那の食を知って、味わってほしい！」という思いが込められているよ。

エーナは10月のえないっぱい給食を食べに行ってきたよ！　今回のメニューは米粉食パン、蜂蜜、三浦豚とバターナッツかぼちゃのコロッケ、ブロッコリーとサツマイモの彩りサラダ、トマトとコーンのスープ、牛乳。思い出しただけでもお腹が空いちゃうんだナ♪

▲山岡小2年生のみんなと給食を食べたよ♪

蜂蜜は山岡町、長島町、武並町でとれたもの。一匹の蜂が一生で作る蜂蜜の量は、ティースプーン一杯分なんだって！　とっても貴重だね。サツマイモは東野産で、トマトは夏に市内で収穫したものを冷凍保存して、一年中食べられるように工夫しているんだナ！

エーナのお気に入りは、岩村町で育った三浦豚と東野産のバターナッツかぼちゃのコロッケ。具材が大きくて食べ応えがあって、とってもおいしかったんだナ！　コロッケは児童生徒のアンケートで決まったメニューなんだよ。みんなの「おいしい！」の声と笑顔があふれていて、すてきな時間だったんだナ♪

▲大きな口でぱくり！

えないっぱい給食をきっかけに、恵那のおいしいを見つけてね！

問　農政課TEL26―6831

恵那市の文化財　その一

文化財の保護と恵那の特徴

森川　彰夫（あきお）さん

文化財は、日本の歴史の中で育まれ、今日まで大切に守り伝えられてきた貴重な財産です。文化財の中には、建造物や美術品だけでなく、自然や習慣なども含まれます。

先人が残した財産を未来へつなぐため、国は「文化財保護法」を施行。文化財を有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観や伝統的建造物群に分類し、保存を進めています。また、顕著な普遍的価値のある文化財はユネスコに推薦し、世界遺産の登録を推進しています。

近年、文化財への関心が高まり、多くの自治体で文化財保護条例が制定されています。恵那市でも「恵那市文化財保護条例」を定め、市内の文化財を保護しています。

市内には武並神社本殿、正家廃寺跡、傘岩など、5件の国指定文化財があります。さらに、大正村役場など、4件の登録有形文化財があり、岩村町本通りは、県内でも数少ない重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。

▲武並神社本殿（大井町）

加えて、岩村城跡や中山太鼓など、県指定の文化財が45件、めれた囃子（はやし）など、市指定の文化財が332件あります。市内には、計387件もの文化財が存在しているのです。

恵那市の文化財の特徴は、正家廃寺や岩村城跡、数多くの古墳などの史跡、伝統的建造物群に加え、ヒトツバタゴやハナノキなどの希少な植物、そして獅子舞や中山太鼓などの無形文化財など、多岐にわたる豊かさにあるといえます。これらの文化財を守り、次の世代に伝えていくことが私たちの大切な使命です。

▲正家廃寺跡（長島町）

健やかで幸せな暮らしのために

健幸レシピ

＼園で人気の給食メニューを紹介！／

豆腐サラダ

多めに作って朝食やお弁当にも！　簡単になりがちな朝食にもたんぱく質を取り入れて、バランスの良い食事を目指しましょう。

材料（2人分）

●木綿豆腐	1/3丁（100グラム）
●もやし	1/4袋（50グラム）
●キュウリ	1/5本（20グラム）
●ハム	1枚
●コーン缶	大さじ1（12グラム）
●カットわかめ	1グラム
Ⓐ●しょうゆ	小さじ1
Ⓐ●酢	小さじ1
Ⓐ●ごま油	小さじ1
Ⓐ●砂糖	小さじ1

1人分：エネルギー87キロカロリー　たんぱく質5.7グラム
脂質6.7グラム　塩分0.7グラム　野菜量41グラム

問　健幸推進課TEL26-6821

作り方

1. カットわかめを水でもどしておく。
2. 木綿豆腐を1.5センチ角のさいの目状に切り、2～3分ゆで、水気を切る。
3. もやしを1分ゆで、水気を切る。
4. キュウリ、ハムを千切りにする。
5. ボウルに水気を切ったコーン缶と❶❷❸❹を入れ、Ⓐを加えてあえる。
6. 皿に❺を盛り付ける。

＼ポイント／
副菜にたんぱく質をプラスすれば、１品でもたんぱく質量アップ！

エーナ健幸レシピを募集
野菜から食べることは、簡単にできる生活習慣病予防です。手軽でおいしく、野菜が食べたくなるレシピを募集します。
えな野菜ファースト

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDGsで未来が変わる　Vol.42

今回は特別編。
本年7月に実施した高校生向けデザイン講座の様子を紹介します。

問　SDGs推進室TEL26-6806

高校生がSDGsをデザインで表現！　ポスターを市役所本庁舎で掲示中！

▲市役所本庁舎玄関に掲示中のポスター

7月31日、恵那未来キャンパスで高校生を対象にしたデザイン講座を開催しました。
本講座では、デザインツール「Canva（キャンバ）」を使って、現役デザイナーからデザインのこつを学びました。
生徒らは市SDGs推進協議会のSDGsシンボルマークを活用したポスター作りに挑戦。2チームに分かれてアイデアを出し合い、最後に完成したデザインを発表しました。

そのうち1点のポスターを市役所本庁舎玄関で掲示しています。
作品には持続可能な社会を実現するための「社会」「経済」「環境」の三本柱が盛り込まれています。
SDGsシンボルマークとエーナが映える「恵那らしさ」たっぷりのすてきなデザイン。
市役所に訪れる際は、ぜひご覧ください。

関連するSDGsの目標